

# 短期留学ホームステイ 語学研修レポート

- ▼期間 平成16年12月23日～平成17年1月11日（20日間）
- ▼滞在先 アメリカ合衆国カリフォルニア州ロサンゼルス郊外
- ▼参加者 吉嶺大樹くん 伊藤龍比古くん（共に高校1年生）

## 吉嶺大樹くん

（スウェーデンヒルズ）

暖かいホストファミリー

熱烈に歓迎してくれました！本当の「家族」として過ごし、帰国直前には思い出にとラスベガスまで連れて行ってくれました。そこで、いつでも帰ってきて、タイキのためにドアをあけるよ」と皆から言われプレゼントまで貰った時は、嬉しさと寂しさと半泣きになりました。楽しく研修できたのは、暖かいファミリーのおかげです。

すべてが勉強！

英語はもちろんのこと、ホストファミリーとの生活、学校での会話などアメリカにいる全ての時間がいい勉強でした。文化や生活・言葉の違いなど大変な事もあります。ホストファミリーと一緒に行った友達が助けてくれました。将来、絶対にもう一度ホストファミリーに会いに行きます！

僕にこんな経験をさせてくれた親と当別町にとっても感謝します。

勇気を持って応募しよう！

最初は不安でしたが、帰る頃には帰りたくなくなります。滞在中は、もちろんアメリカの事を学びますが、日本の事も学べます。

ホームステイでは、お客さんではありません。だから「アメリカ」風に生活して、積極的に自分から動く、うまくコミュニケーションを取ることが出来ます。

迷っている人はゼツタイ応募してください！とても良い経験になります。



ホストファミリーと団らん

## 伊藤龍比古くん

（スウェーデンヒルズ）

派手なクリスマス

アメリカではとても盛大にお祝いします。大きいツリーや広い前庭と家がライトアップされ、夜はとてもキレイです。イウの夜には友達が集まり、歌いながら近所を回り、派手なパーティーを行います。仕上げはすごい量のクリスマスブレゼント。「アメリカのクリスマスってすごいな！」とつくづく感じました。

「わかる！」喜び

到着してすぐは大変でしたが、ただただしく辞書を引き、引いてもらいながらホストファミリーと会話するうちに、数日間ヒアリングの成長を感じる事ができました。単語で理解していたものが、「会話」の意味を理解できる様になると、会話と笑いの数が増えていったのです。帰国直前には、急に話しかけられても大体は聞き取れるようになっていました。

英語が「わかる」その喜びは最高でした。その喜びがあつてこそそのホームステイだと、自信を持って言えます。

興味がある人はぜひ！

高校生にホームステイの機会を与えてくれる当別町にとっても感謝しています。こういった企画は、ぜひ継続してほしいと思います。

ホームステイをすれば、たぶん人生観が変わり、アメリカに対する興味関心が強くなって英語を勉強する意欲も沸くこと請け合いです。

興味がある人、やる気さえあれば何とかかなりです。役場で書類をもらって応募だ！

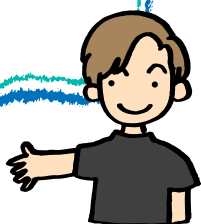
次回は、あなたが参加しませんか？

ワクワクする体験が待っています。

募集は9月頃を予定。

広報誌やホームページでお知らせします。

担当 企画課企画振興係（☎23 3042）



ハリウッドを見学



## 町長の日記

17年2月22日(火)

毎年2月は入試シーズンで受験生がいる家庭ではなにかと悩みや心配があるのは昔も今も同じらしい。

役場の職員の家庭でも受験生をかかえている人が沢山いる。

皆んな平然と仕事をしているが子供の合格が決まった時にはまるで爆発したように喜んでいたので見ると、ふっと遠い昔になってしまった自分の“十五の春”を想い出した。

「青雲の志」などと云う言葉も忘れかけていたのにさわやかな記憶がよみがえってきた。

夕食の時、そんな話になったら、妻が「私も誰にも話さなかったけど自分の気持ちの中で母親の責任みたいなものを感じていたから子供達が合格した時はホッとしたよ」と云っていた。

母は昔、私の妹に札幌の女学校から帰りに漬物用のキザラを四キロほど買ってほしいと頼んだら文句を云わず持って帰って来たことがあった。と、こちらも従順だった娘の少女時代を懐かしんでいた。

入試が終わったら卒業式と入学式のシーズンになりこの時期、正月よりも年が改まった実感がする。

今年3月で中小屋中学校が閉校になる。最も多い時は24校もあった学校が一つずつなくなって、ついに9校になり、更にあと1~2年の間に3つの学校がなくなると思う。

近年、田舎の学校の方が安全だと思うが少子化で生徒数が10人くらいでは仕方がない。

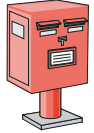
然し進学する子供の胸は母校の大小にかかわらず大きくふくらんでいるに違いない。

又、親にとって学校の卒業式や入学式ほど心が洗われる時はないと思う。

例年、卒業式に参列して校長から卒業証書をいただく我が子の姿を見つめている親は万感胸に迫っているのが良く判り、春一番の美しい光景だなと思う。

# 町長衆亭俊考

## お答えします 「町長への手紙」



広報誌に折り込みをしている「町長への手紙」にお寄せいただいたものの中から、紙面上でお答えします。

### 私の意見・私のアイデア

**意見** 総合体育館のトレーニングルームは、利用者も少なく、暗い印象です。

提案ですが、BGMを流してはどうでしょうか。スポーツと音楽は、切っても切れないものだと思います。

**お答えします** 以前に、総合体育館でもBGMを館内放送した時期もありましたが、予想に反して多くの苦情が寄せられ中止した経緯があります。

しかし、私たちが日頃何気なく耳にするその場に合ったBGMは、快適さや魅力を倍増するなど実に様々な効果をもたらすものと考えます。

近年は癒しと安らぎを求める時代でもあり、総合体育館でもどのようなBGMがマッチするのか、それ以外にも利用者に対するサービスはできないかなど考えていきたいと思っています。



**意見** 当別のふくろうに可愛い愛称をつけ、キャラクターを作ってはどうでしょうか。「着ぐるみ」を何組か作り、イベントに貸し出したりすると、子供やお年寄りに受け入れられるような気がします。看板やごみ箱に使っても良いと思います。

**お答えします** 町の中では、シャッターにふくろうの絵が描かれたり、ふくろうの会が運動して道民の森に通じる道路が「ふくろう街道」と名付けられるなどふくろうが浸透しているように感じます。

寄せられたご意見も、これらの活動をさらに進める大変楽しいアイデアだと思います。「ふくろうの着ぐるみ」も、ボランティア活動のみなさんなどが作り上げ、イベントなどで活用することが、住民参加のまちづくりを行う上で大切なことと考えます。

今月の広報には、「町長への手紙」の用紙を入れてあります。いつの時期でも構いませんので、お気付きのことがありましたら是非ご意見をお寄せください。

担当：秘書課広報広聴係 ☎23-3069